



ピッポ新聞

2005
3
No.197

子どもの本専門店

年間購読料(送料込み) 1500円
編集・発行 伊藤俊男

URL <http://www.pippo.co.jp>
Email pippo@diana.dti.ne.jp

ピッポ

〒424-0886 静岡市清水草薙1-6-3
TEL & FAX 0543-45-5460

春!絵本を散歩する

3月の声を聞くと、これまでとはちがって、なんだかおひさまの光が明るく感じませんか。そうなると、やっぱりちよつと、散歩に出かけたくなりますよね。そこで今月はちよつとだけ季節を先取りして、本の世界へ春を見つけに出かけてみることにしましょう。

東京は雪(3月4日)だとか。でもね、春の雪はとても淡いもの。

『花のうた』(シャンナ・オーテルダール・文 エルサ・ベスコフ・絵 石井登志子・訳 1470円 文化出版局)



は春が訪れるのさ。ほら、きこえるでしょう! タンポポたちが野原や畑のあぜ道で踊りながら歌うこえが・・・。

『根っここのこどもたち目をさます』(ジビレ・

フォン・オルファース・絵 ヘレン・ディーン・フィッシュ・文 いしいももこ・訳 1400円 童話館出版

地面の下ではね、土のおかあさんがホタルたち

をつれて、「さ

あ、おきなさい。

春がきますよ。

しごとをはじめ

なくてはいけま

せん」ってね、

起こしているの

です。根っこ



子どもたちは目覚めると、女の子は春に着る服を縫い始め、男の子は眠っている虫たちをおこしてやっていますよ。そして、すっかり暖かくなつた野原へと出ていくのです・・・。

田おこし前の田圃には、ナズナが白い花を、レング、カラスノエンドウは薄桃色のはなを、オオイヌフグリはともちいさいけれど青色のはなを咲かせます。あぜ道はタンポポの黄色が目立ちます。紫色はスミレです。少し日陰の湿った所では、セリやミツバやフキが新葉を出します。ちよつと摘んでいきましよう。おやおや小川の水辺ではクレソンも新芽をだしていますね、こちらはサラダにしましようか。乾いたところではツクシも顔をだしている、こちらもちよつと摘もうかな。もうすっかり春の色とりどりの草花がせいぞろい。花の蜜を目指して、ハチヤチヨウチヨも飛んできます。

『ちようちよはやくこないかな』(甲斐信枝・

作 780円 福音館書店

たくさんの野の花がさいてます。そこに



チヨウチヨがやつてきました。ちいちゃい青い花は自分のミツをのみにきてくれたとおもったのですが、あれ、隣の花へいつちやつ

た。べつのちやうがやってきた、こんどこそ・・・。やつぱりどこかにいつちやつた。「ちようちよはやくこないかな」・・・。チヨウチヨは種類によつてミツを吸う花がきまつているのかな？

春は見るみる南から北へ進みます。南の方



から、さくらの便りが聞こえてきましたよ。

『515』

（かがくのとも）
4月号 長谷川
摂子・文 矢間
芳子・絵・構成

410円 福音館書店

あなたは、今年は何処へ花見に行きますか？
余り飲み過ぎないように！

春は南から北へ進みますが、下から上へも登っていくのです。5月を過ぎると里では初夏ですが、山では雪解けがようやく始

まるのです。そうすると、山の植物たちも目覚めます。「スプリング・エフェメラル」つ

て、ご存知ですか？

『春の妖精たち スプリング・エフェメラ』



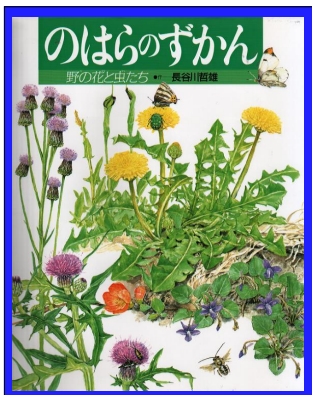
ル (たくさ
んのふしぎ4
月号 奥山多
恵子・文・絵
700円

福音館書店

スプリング

エフエメラル

は「春のはかない命」という意味だそうです。山の雑木林（主に北の方）の木の下にはえる草花は、雪が溶け、木々の間から地面に日が届くほんの短い期間に花を咲かせ実を付けて地上での生活を終えるのですが、これらの植物たちを指して、スプリング・エフェメラル（春のはかない命）と呼ぶのです。きれいな言葉ですね。カタクリ、フクジュソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲ、イチリンソウ。ニリンソウなど代表的な植物です。やがて、木々の葉が芽吹き茂ればもう地面には太陽光は余り当たらなくなり、これらは枯れてしまうのです。



『のはらのず
かん』（長谷
川哲雄・作
1470円
岩崎書店）や
『草花ととも
だち』（下田

草花とともだち

—あつめる・だてる・あふる・あそぶ—

作画：松岡達夫 絵と文：下田智美

智美・絵と文 松岡
達英・構成 157
5円 偕成社 は春
の散歩へ出かける前
に、読むと、散歩が
さらに楽しくなると
思います。

と、ここまで書いたところで、何か物足りなさを感じます。春は植物だけでなく、動物も目覚めの季節です。そうだ！3月1日は溪流釣りの解禁日。とりわけ大井川の上流へは20年以上も通い続けたものですから忘れません。雪中での釣りから、やがてバツコヤナギやアブラチャンなどの花が咲き、ウドやタラノメの山菜と春は移ります。こちらも季節と共に、奥へおくへと入っていくのです。



はり「ピンク、ぺっこ
ん」の絵本の3冊シ
リーズがうかびます。
中でも『ピンクとス
ノーじいさん』（村
上康成・作 136
5円 徳間書店）は
やまめのピンクが初
めての冬を生き延び
春を迎える絵本です。
シリーズの2作目。

ちよつと先取り、絵本の春の一席でした。

ねー、この本読んだ？

『ダンデレイオン』(ドン・フリーマン・作 アーサー・ビナード・訳 1365円 福音館書店)



ティーパーティーに招待されたダンデレイオンは、おめかしをするのにします。たてがみにパーマをかけたり、セーターを新調したり。そして、張り切ってキリンさんの家へ。ところがキリンさんは・・・。おしゃれつて、素敵ですね。でもね、ダンデレイオンのように度を越したおしゃれは、とんだ事件を起こすものにもなりかねませんよ。

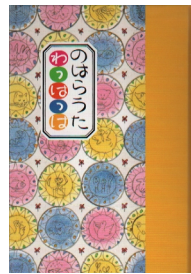
『ねこのどどいつ あいうえお』(織田道代・文 スズキコージ・絵 1365円 のら書店)



「どどいつ」って、江戸時代に流行った775からなる俗謡の一種なんだけど、そのリズムって言うのか調子がとてもいいのです。この形式を使ってねこについてうたいこんだことばあそびが本書です。

スズキコージさんのコラーージュを駆使した絵もとても楽しいです。おなじように『どうぶつどどいつ』(織田道代・文 長新田・絵)も出ています。

『のはらうた わつはつは』(くどうなおこ・作 1523円 童話屋)



最初の詩集「のはらうた」が出て20年目になるそうです。のはらうたのシリーズも4冊出ましたから、今度のこれを入れると5冊目というわけです。今回は季節ごとの「のはらむら」の俯瞰図が描かれていて、季節ごとに「のはらむら」の住人の詩と、案内人の文章で綴られています。それはこんな風に始まります。

おひさまの ひかり きらきら ・ そよ
かぜ ふわふわ そより ・ はなびら
ひらひら ・ きのめ くさのめ ぼちり
・ のはらみんなが せのびして ・
わあい わい! ・ のはらむらに はる
がきた

『ねずみの騎士デスペローの物語』(ケイト・ディカミロ・文 ティモシー・バジル・エリング・絵 子安亜弥・訳 1470円 ポプラ社)

ハツカネズミのデスペローはちょっとかわったネズミでした。耳が大きいなど体つきも他の仲間とは変わってはいたのですが、何より変わっていたのは音楽に惹かれたり、

本をかじるのではなく(ネズミは普通囓って食べる)読むことに夢中だったのです。



そんなデスペローが何と人間のお姫さまに恋をしてしまったので、そのお姫様を救おうと、地下牢のやみの世界のどぶネズミへ果敢に挑んでいくのです・・・。

2004年ニューベリー賞受賞作

『ねずみの騎士デスペローの物語』はハツカネズミがお姫様に恋をするものがたりでしたが、つぎのギャリコの『セシルの魔法の友だち』はてんじくねずみと現代の8歳の女の子セシルがペットシヨップで出会いお互いが気に入るところから始まるのです。2冊ともネズミと人間の女の子との間の物語ですが、とても面白い本だったので紹介しますね。

『セシルの魔法の友だち』(ポール・ギャリコ・文 野の水生・訳 太田大八・絵 1785円 福音館書店)

この本には、セシルと、てんじくねずみのジャン・ピエールとのお話が4話入っています。最初のお話がセシルが8歳だったときにジャン・ピエールと出会うお話ですが、最後の4話目では、セシルは十二歳の少女になっています。そこではセシルの成長し

た様子をうかがうことができます。さて最初のお話は、ペットショップで出会ったジャン・ピエールを小遣いをはたいて手に入れたセシルには、ジャン・ピエールすべてという、この年頃に良くある女の子の姿が描かれています。

ジャン・ピエールもセシルが大好きです。



お互い言葉を交わしたいのですが、ネズミと人間ですから話すことが出来ませんところがある

日、古時計によって、時計が12時を告げる鐘のを打つ間だけ話すことができるお知らせされます。あなたならどんなことをジャン・ピエールと話しますか？

セシルも、そしてジャン・ピエールも話したいことがいっぱいありました。いろいろ何を話したらよいかとても迷ってしまつたのです。ところが、時計の鳴る瞬間、お互いが同じ言葉を口にしたのです……。さてこの物語は4つともセシルと、てんじゅくねみのジャン・ピエールが中心ですが、それぞれ性質の異なった物語になっていて、とても楽しいですよ。今年のこれま出版された本の中では おじさん一押しの本です。

インフォメーション

うれしいことに、先月の拙文を読んで、あの稜線のコースへ散歩に出かけてくれた方がいたのです。ところが、途中で道がわからなくなってしまう、諦めたということでした。そこで、迷わずに散歩ができるように再度コースの説明（説明を聞いたままですわからなくなるといふことも、あるかも知れませんが）をしたいと思っています。

県立大学の薬草苑とテニスコートの間の坂道をのぼり稜線までは、間違ふことのほうが難しいのではないかと思います。その方もそこまでは行ったそうですから。

そこは丁字路になっているのですが、それを右側にコースをとるのです。お断りしておきますが、ここからが山道になっています。もし手をつないで歩きたい方には、二人並んでは歩けませんから、ここからお引取りねがうしかありません。なにしろ、人ひとりが通れる巾しかありませんから。道はゴルフ場の金網のフェンスまでアツブダウンの繰り返しですが、山道ですので、左へ下る道や右に下る道など枝道がいくつも出てきますが、肝心なのは稜線からはずれないことです。常に一番高い所の道を行います。

すぐに、右側が竹林を切り開いた斜面で、左の斜面は竹林、続いて草薙団地の裏側の

斜面となります。ぼくはこの辺の道を密かにタケノコの道と名付けています。この辺は急なアツブダウンが続きます。もうタケノコを何本か掘ったという声をききますから、近く出勤してみるつもりです。

ゴルフ場のフェンスまでは、40分から1時間くらいで到着します。先月書いたようにこれを左に下ればすぐゴルフ場の取り付け道路ですが、今回は右のコースを新たに紹介します。この道も、ちょっと面白いですよ。

右を下っていくと、すぐに、両側が高さ3メートルほどの土の壁になります。道はその底（大げさに言うとも谷底）を行くのです。道幅は人が一人通れる巾しか有りません。ぼくはこの場所を勝手に、ミニグラントキヤニオンと名付けています。150メートルほどこれが続きます。

やがて、平沢寺の裏に出ます。これを道なりに下っていけば、舗装道路に出ます。これを左に行けば乗馬の練習場があり、やがては行き止まりです。右側が帰り道です。道はすぐに川にぶつかります。川沿いの道を行けば、春の草花にであえるでしょう。田圃にはレンゲなどさまざまな草花を見ることが出来ます。川にはクレソンも生えます。やがて射撃場までくると、また、舗装道路とぶつかります。

お弁当を持参すれば、ちょっとしたピクニックにもなりますよ。